

第7回 木曾岬町活性化委員会 議事録

日時/場所	2017年2月7日(火) 19:00~20:40 木曾岬町役場4階 防災多目的室	
参加者	木曾岬町 事務局：山北教育長、西川教育課長、宮前係長兼指導主事 活性化委員：安田委員長、小森副委員長、中川委員、大橋委員、 武石委員、松下委員、加藤委員、柴田委員、星野委員、諸戸委員 アドバイザー：株式会社リブネット 永野、高橋	
◆提案・質問など	回答など	
1. 図書館の開館予定・開館時間について		
◆開館時間予定について 図書館は11月末に完成予定である。1月の何日になるかまでは決まっていないが、平成30年1月開館に間に合わせたい。(事務局)	特に意見なし(委員)	
◆開館時間について ・現在、火～金曜日の時間を同一にする案1と、金曜日のみ開館時間を遅くし、閉館時間も遅くする案2の2つを考えている。(事務局) 〈案1〉火～金 10:00～18:00、土日 9:00～17:00 〈案2〉火～木 10:00～18:00、金 13:00～21:00、土日 9:00～17:00	・高校生や大学生は1日でも遅くまで開館していることに喜ぶと思う。(委員) ・始めてみないと分からないし、定着すれば、日によって開館時間が違うことは気にならなくなるのではないか。(委員) ・本日もアドバイザーと打ち合わせを行う中、開館時間が日によって違うことで利用者が戸惑わないかの心配があった。しかし、人件費を変えずに遅くまで開館して利用できる形を考えた。6月までには確定したいと考えている。(教育長) ・多くの人に図書館に来るチャンスを与えると考えると、1日でも遅くまで開いていることは嬉しい。18時までに来ることができない人へのチャンスが広がる。私も夜に来たいと思う。(委員)	
・21時までの開館になると働く人が大変なのではないか。(委員) ・桑名の図書館は遅くまでやっているのか(委員)	・1日中同じスタッフがいるのではなく、半日交代など、シフトを組んで回すので大丈夫だと思う。(委員長) ・先日岐阜のメディアコスモスを見てきたが、シフトを組んでやっているようだった。(委員) ・桑名は9時～21時の開館時間。シフトを組んでまわしている。長島も一時期遅くまで開館していたことがあったが、人の確保や人件費で難しかった。小中学生も利用するが、21時まで開館ということを委員の方はどのように思うか。帰り道には心配があるが、高校生には需要があると思う。(委員長)	
・閉館時間の返却はできるのか。(委員)	・閉館時間のみ返却ポストを使用できるようにする。宿直の部屋に返却ポストを設置したため、緊急事態にも対応できるようになっている。(事務局)	
・新成人と図書館についての話をしたと広報にあった。どのような話が新成人から出てきたのか。(委員)	・持込のタブレットが利用できるという話が出たが、開館時間についての意見はなかった。(教育長)	
・遅くまで開館するのであれば、夜にしかできない企画もできるのではないか。夜のお話会やコンサートなど。(副委員長・委員長)	・委員の方が言うように、夜のコンサートや天体観測など、木曾岬町ならではの攻めの戦略をとることも可能である。(委員長)	

<p>2. 「わたしのオススメするこの一冊」について</p> <p>◆3月の広報で募集開始し、6月まで募集する予定である。前回の活性化委員会であがった字数やイニシャルについての意見を反映し、大人用（中学生以上）と子ども用（小学生以下）の2種類を作成した。役場に用紙を取りに来てもらい、役場に提出の形を考えている。（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FAXやインターネットでの提出でも良いのか。可能なら、用紙にFAX番号を入れた方がいい。インターネットで応募ができるのであれば、気軽にできると思う。若い子には、用紙に手書きは面倒臭く感じるように思う。また、メールで提出できるようにすれば、木曾岬町が進んでいるようにも見えるのではないかと。（委員） ・ホームページに掲載するのであれば、在勤・在住限定など応募者が限られていることをしっかり明記するべきである。（副委員長） ・これまでで出た案からすると、ネットやFAXでの応募はないものと考えてほしい。（事務局） 	<ul style="list-style-type: none"> ・FAXやメールは想定していない。提出内容について尋ねることがある時に、メールやFAXだと連絡が取れない可能性がある。また、イタズラ等が心配であるので手交のみをしたい。（事務局） ・ネット化には、人や物に時間やお金の労力をかけている。現行のスケジュールや予算でやろうとするとかなり難しいのではないかと。（委員長） <p>特に意見なし（委員）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・冊子には何人くらいを掲載する予定なのか。また、冊子は子ども用と大人用に分けるのか。（委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない時には二次募集も検討していく。大人用と子ども用は分けず、1冊の予定である。（事務局） ・見開き6人程度の掲載で、100～150冊程の掲載予定である。120冊とすると、ちょうど20ページになる。募集方法の拡大については二次募集の時に考えても良いのではないかと。（事務局）
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童の応募は学校で受け付けるのか。子どもたちの応募もメインの1つであると思うがどうか。（事務局） ・中学校では今まで学内選抜を行って学校全体で取り組んできた。一次募集の締切が夏休み前の6月なので、集め方が難しい。（委員） ・小学校でも用紙を置いておき、応募という形は実施したことがないので、どの程度反応があるかはわからない。（委員） ・小中学校の採用枠が30ずつとの案が出たが。（委員長） ・中学生・一般用の用紙は、役場に置くだけでなく、広報に挟んだ方が良いと思う。（教育長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の応募は、ひとまず学校に設置する形とし、その応募数で考えたい。（事務局） ・二次募集をした場合、9月までであるので、小中学校の数の枠を決めておいて学内で選んでもらっても良いのではないかと。一般からどの程度集まるかも未定である。（教育長） ・学校での募集に関しては、採用数の枠のみ決めておき、学校でのやり方で実施して頂くのがやりやすいのではないかと。また、2枚目を応募したい子がいれば、一般枠で提出してもらうことも可能。小学校30、中学校30、幼稚園10、町職員と活性化委員で30とすると、100集めることができる。（アドバイザー） ・その数を目安として、学校でやりやすい数で考えてもらっても良い。（教育長） <p>特に意見なし（委員）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・応募用紙について、マス目にするとう数字を数えやすく良いのではないかと。（委員） ・マス目が小さいと低学年の子どもには書きづらいと思う。（委員） ・マス目については、レイアウトの問題もあるので、事務局の判断に任せる。（委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マス目を作ると1文字が狭くなるように思う。（教育長） <p>特に意見なし（委員）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・冊子に載せた紹介文は、開館時に本といっしょに展示をできれば良いと考えている。紹介文もできれば、原稿の現物を展示できると良い。（アドバイザー） <p>◇選考方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ本への紹介文があった場合はどのように選ぶのか。（委員） ・同じものがたくさんあると、すべての掲載は難しいだろうが、少数ならば、同じ本でも掲載すれば良いのではないかと。（委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示をするというのはとても良い案である。（委員） ・原稿の現物展示は事前に伝えなければ難しいかもしれない。（委員長） ・選考委員会を作っている訳ではないので、何を基準とするのかは難しい。活性化委員で選ぶ形が良いのではないかとと思う。同じ本への紹介文については、応募数を見て考えましょう。（アドバイザー）

<p>3. 利用カードのデザイン募集について</p> <p>◆3月の広報で利用カードのデザインとする写真の募集を行う。期間は5月までとする予定である。6月の活性化委員会で応募状況等の説明や選考を行い、8月に発注の予定である。写真は現像した写真だけでなく、データのメール送付やCD-ROMなどの記録媒体での受付を行う。応募には、必ず名前等の明記を必須とする。(事務局)</p> <p>◇募集方法・受付方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集は広報のみで行うのか(委員) ・町民からの応募のみ受け付けるのか。(委員) <p>・募集要項に記載がないが、木曾岬町に関わる写真の募集とするのか。また撮影日は限定するのか。(委員)</p> <p>・利用カードにトマッピーを入れるのか。写真とトマッピーが合うのかということも選考基準に関わってくると思う。(委員)</p> <p>・データ提出とする場合、返却のことを考えなくてはならないが、その点はどうするのか。最初は写真のみで選考し、後からデータをもらうという手もある。コンテストではまず写真のみで選考を行い、写ってはずいものが入っているものを省くようにする。選考方法については、鮮明さや面白みなどいくつかある。(委員)</p> <p>・若い子はスマホで撮って気軽に提出できた方が参加しやすいと思う。加工した写真については受け付けるのか。(委員)</p> <p>・カードとして加工するので、最初は写真のみの方がトラブル回避できるのではないかと。(委員長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報でのみ案内し、町民からの募集のみに限る。(事務局) <p>・木曾岬町に関するという一文があると良いです。過去の写真も募集対象とするが、データでの提出の方が、カードは綺麗に仕上がる。また、いくつかの案を用意し、写真に合わせて、レイアウトを考えることになる。(アドバイザー)</p> <p>・応募があったデータについてはすべてプリントアウトし、選考する。気軽に1人でたくさんの応募を行う状況は避けたいが、なるべく広く応募がある形での受付を行いたい。トマッピーに関しては検討中である(事務局)</p> <p>・出来上がりで判断するので、加工した写真も可とする。データがある方はもらっておいた方が良いと考える。(事務局)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・実際には募集が始まってなかなか、集まらないように思う。(委員) ・1人3点までにしてはどうか(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本として提示した2枚のカードは、弊社が運営する自治体のもので、どちらもアマチュアカメラマンの撮影したものである。また、なかなか応募がない時には、名のあるアマチュアカメラマンにこちらから声をかけさせて頂くこともあった。どの方も声をかければ快く応じてくださった。応募状況を見て、そういったことを考えても良いと思う。(アドバイザー)
<p>◇使用写真の権利について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の著作権についてはどうなるのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の権利については撮影者に残し、カードへの利用は二次利用なしで無償提供とする覚書を書いてもらう形が良いかと思う。(アドバイザー)
<p>◇カードの発行枚数・作成料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初刷5,000枚は木曾岬町の人口を考えて、多いのではないかと。(委員) ・シンプルな図柄のカードと、写真を利用したカードでは作成料に違いはないのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町にお住まいの方も作れるので、5,000枚はあった方が良い。(アドバイザー) ・作成料に大きな違いはない。(アドバイザー)
<p>4. サポーターについて</p> <p>◆前回の活性化委員会での意見を反映し、名称変更を行ったものもある。〈花サポーター〉(事務局)</p> <p>委員の皆さんにはどれか1つでも良いので、サポーターとして参加をしてほしい。また、園長先生・校長先生には子どもたちがどのようにして図書館の利用をしていくかについて検討し、ご協力いただきたい。(教育長)</p> <p>◇図書館内の部屋の活用について(多目的ルーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例や規則で部屋の利用について明言するのか。また、その部屋は鍵のかかる部屋なのか。(委員) ・他の施設は部屋を借りるのに有料であるが、図書館は無料で利用できるのか。他との兼ね合いも、難しいのではないかと。また、サークルとすると広く便利に使いすぎるように思うので、図書館に関わる団体など限定した方が良いのではないかと。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則で利用については記載する予定である。事前の受付や予約はとらないようにし、当日空いていれば、利用できるような形にしたい。図書館利用だけではなく、木曾岬町のコミュニティとして、人が集まるしくみをつくっていききたい。(教育長) ・6人程が座れるスペースで鍵のかかる部屋になっている。申込書や申請書の提出、利用カードとの引き換えでの利用を義務付けると良い。また、2時間限定など制限を設けても良い。視聴覚ブースの利用と同様だと考えて頂くともイメージしやすいかと思う。(アドバイザー)

<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学や図書館の使い方などのオリエンテーションでの連携ができるかと思う。(委員長) ・図書館が小学校のすぐ前にあるので、授業を利用して訪れることはできるかと思うが、開館時間を考えると利用できる曜日は限定される。(副委員長) ・職場体験については、今まで弥富まで行っていたので、とても助かる。(委員) ・幼稚園も借りに来たいが、図書館バッグなど何か用意はあるのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1・2年生の図書の授業の時間に使ってもらえると嬉しい。 読書登山も行うので、幼稚園保育園・小学校で本を読む仕掛けづくりをしてほしいと考えている。(教育長) ・全児童の利用登録や、中学校では職場体験の受入れ、調べ学習の支援もできると思う。教科書単元のセット貸出用の本を用意することも考えている。(アドバイザー) ・バッグ購入の予定は現在なく、費用もかかるので、検討する。(アドバイザー) ・団体貸出用のコンテナを用意することも良いのではないかと。また、図書館バッグについては補助金などを利用し、町の予算を使わないような工夫をすると良い。(委員長)
<p>5. プレイメントについて</p>	
<p>◆2月18日(土)にPOP作成のイベント、3月11日(土)にフィルムコーティングのイベントの第二弾を実施予定。 POP作成のイベントについては、おすすめの本の紹介文の案内を行い、募集につなげる。フィルムコーティングの方もサポーターの獲得につながるようにしたい。また、前回の意見を踏まえ実施内容は持ってきた本について語る時間などを設けたいと考えている。(アドバイザー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月のPOP講座は行きたいが、学校のPTA会議と重なるため参加が難しい。学校行事と重なっていないか実施日決定の際には検討してほしい。また、中学校も学年末テストの前である。(委員) ・選書ツアーの開催時期はいつになるか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日や募集対象は今後開催時に意見を反映する。(アドバイザー) ・未定だが、8月～秋頃となる予定である。(事務局)
<p>6. 図書館機能およびパソコン等備品配置予定図について</p>	
<p>◆前回見て頂いたものより、前述の話にもあった多目的ルームが増えているのが大きな変更点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者用のOPACやPCは1台なのか。(委員) ・倉庫の横の書庫はすべて図書用書庫になるのか。(委員長) ・ブラウジングスペースに最初から雑誌は置くのか。(委員) ・キャスターパネルとはどういったものか。(委員) ・館内は飲食禁止になるのか。(委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1台である。(事務局) ・すべて図書用の閉架書庫である。(事務局) ・雑誌は置く。以前話をを行ったスポンサー制度については、検討中である。(事務局) ・3連で1つになっている、両面の有孔ボードで、展示に活用できるものである。(事務局) ・基本は飲食禁止で考えている。図書館の外にはなるが、木曾岬町ステーションというエリアに自動販売機が設置してある、飲食のできるスペースがあり、そちらを利用して頂く。(事務局) ・昔は図書館は飲食禁止で、携帯の利用もダメだった。現在は熱中症対策で、フタ付きの飲み物に限り許可をしている所もあり、またスマートフォンの普及で利用ができるようになってきた。時代に応じた対応が図書館も必要になる。(委員長)
<p>7. その他伝達事項</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・松下委員の参加が今回で最後となる。(事務局) ・あいさつ(松下委員) 	

以上です。

■次回活性化委員会開催日程について 平成29年6月予定。公募の応募状況や利用カードデザインについて協議。